

令和7年度ロールモデル講演会および対談『人生！ときめき☆多ブリコラージュ・キャリアジャングルジムの登り方』を開催しました。

今回は、高知大学特任助教・URAの安光ラヴェル香保子先生を講師としてお招きし、先生の越境経験について、男女共同参画推進室の廣瀬室長が対談形式で深掘りしていただきました。

安光先生のお名前の由来から始まり、インドネシア日本人学校での学び、慶應義塾高校・大学で経済学を専攻されたご経験、そしてソニーに総合職として入社された当時の女性の働き方などが紹介されました。また、会社の休職制度を活用してオーストラリア国立大学大学院（国際関係論）へ留学されたこと、さらに国際結婚や育児のご経験についてもお話しいただきました。

対談の中では、越境への挑戦が一度でうまくいくとは限らないこと、そのためにも諦めずに何度かアプローチを試みることの大切さが語られました。まずは一步踏み出してみることで「越境者の視点」を得ることができるということ、そして日本にいるよりも強く感じるマイノリティとしての経験が、視点の広がりにおいて重要であることが強調されました。また、さまざまな偶然をうまくつかみ取り、組み合わせていくことの大切さとして、スウェーデン・イエーテボリ大学大学院での経営学修士の取得、高知県での仕事や地域貢献の機会を経て、同大学院で博士（医学）号を取得され、高知大学医学部で研究を続けられている経緯が紹介されました。

研究においては、研究計画の立案や共同研究のマネジメント、広報やサイエンスコミュニケーションが非常に重要であり、実はこうした業務には企業での勤務経験がそのまま活かされていることをご紹介いただきました。研究とビジネスはまったく異なるものではなく、両者に共通する「トランスファラブル・スキル（応用可能な技能）」が数多くあることをお話しくださいました。

そして、「さまざまな経験は、振り返ってみて初めてその意味が見えることもある」と前置きされた上で、それでもなお、一步踏み出して得た越境の経験には無駄なものはないと語られ、「ぜひ皆さんも、恐れずにチャレンジしてみてください」と、参加した学生たちに力強いエールを送っていただきました。 報告：ひげ室長



# 令和7年度 ロールモデル講演会と対談

## 人生！ときめき☆多ブリコラージュ キャリアジャングルジムの登り方

日時 令和7年7月22日（火）14時50分～16時20分

場所 高知大学朝倉キャンパス共通教育棟221番教室

対象 本学学生・教職員・一般(参加費無料：事前申込不要)

講師 安光ラヴェル 香保子（高知大学特任助教・URA）

慶應義塾大学経済学部卒、SONY株式会社、SONYサンディエゴを経て、2010年より高知大学岡豊キャンパス、朝倉キャンパスに勤務。オーストラリア国立大学大学院で国際関係論修士、スウェーデン・ヨーテボリ大学院で経営学修士、博士（医学）を取得。現在は高知大学でご自身の研究に加えて、研究支援を担うURAとしても活躍中。

モデレーター：高知大学安全・安心機構 廣瀬淳一



お問い合わせ

高知大学 安全・安心機構 男女共同参画推進室

しあわせぶんたん（担当：廣瀬、吉村）

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

国立大学法人高知大学 地域協働学部棟3階

E-mail：sankaku@kochi-u.ac.jp